

小林栄先生との出会い

小学校尋常科の卒業試験が行われ、猪苗代高等小学校の小林栄先生が、三ツ和小学校にきたときです。

「きみの左の手は、どうしたんだね。けがでもしたのかね。」

「この左手ですか。これは、三歳のときやけどをして、こうなったのです。」

「それは気の毒だ。それで、きみは、尋常科を卒業してからどうするんだね。」

